

## 陳 情 書

土浦の自然を守る会は「桜川の自然公園化」を表現させるべく、陳情書を作成し、土浦市内外において署名運動を行なっている。この署名運動は、本年八月末まで行ない、九月始め、環境庁、県知事、土浦市長にあてて提出予定である。  
ここにその全文を掲載する。

わたしたちの住む茨城県は、つい最近まで美しい豊かな自然に恵まれておりました。町の空地や川の土堤、田んぼ等は、すべて子どもたちの絶好の遊び場であり、わたしたちの祖先も、わたしたちもその中で育ち生活してまいりました。

しかしながら、ここ数年、恐ろしい速さで都市化が進行し、それに伴って自然環境がとりかえしのつかぬほど破壊されつつあります。そして自動車は町中の道路を埋めつくし、子どもたちから空地を奪い、さらにとりかえしのつかぬほど自然を守り育て

土浦はもともと公園の少ない町でしたが、もしこのままの状態が続いたとしたら子どもたちは、健康な肉体の発育を妨げられるばかりでなく、精神の健全な発達も阻害されるに違いありません。いや、子どもたちばかりでなく、自然を失なつた一般市民もまた心にうるおいのない生活を送つてゆかなければならぬでしょう。

今年の六月、スウェーデンに於いて国連の人間環境会議が開催されますが、これに先立ち、その会議で採択される予定の「人間環境宣言」案が環境庁より発表されました。その前文に次のような部分があります。

「……現在および将来の世代のために人間環境を擁護し向上させることは人類にとつて至上の目標となつた。

この環境上の目標を達成するためには市民および社会企業および団体が全てのレベルで責任を引き受け、ひとしく共通な努力を分担することが必要である。……

……略……」

ここでも言つておりますとおり、わたしたちの環境を守るためには、それぞれの分野の団体それぞれがそれぞれ